

広報

冬ご

第164号

平成元年

予算特集号



芳ノ浦上空から中央街を望む

心のふれあう活力ある町づくり

3月定例町議会で審議

清原町長の施政方針



佐々町長 清原 恵一郎

私は、ことしも町長就任以来一貫して続けてきた、すべての町民が健康で明るく「心のふれあう活力ある町づくり」をめざして政策を実行します。

ことしは、昭和から平成へと年号も新たに、覚悟も新たに①教育施設の整備②公営住宅の建設③道路河川等生活環境の整備④農業、商工業の振興⑤福祉の向上⑥健康づくり推進⑦下水道整備計画の

平成元年度予算案を審議する三月定例議会が、三月十日から二十五日まで開かれ、総額三十一億五千三百万円の一般会計当初予算などを審議しました。

(下段の予算表参照) 清原町長の施政方針にあるように、まず行財政改革によって経費の節減をはかり、重点目標に掲げた七項目の事業を進めるため使います。

策定を重点目標に、前年度実績をふまえて補助対策事業等制度的なものを有効に活用し新年度予算をつくりました。財政面は、国の税制改革の実施で消費譲与税の新設、地方交付税の増加が見込まれるものの、全体的に経常一般財源に大きな伸びはなく、財政的に依然として厳しく、引き続き財政の簡素効率化と経費の節減合理化に努めました。行政面では、町民総参加の町政推進のため「町長対話の日」(毎月第一日曜日)夜間役場(毎週第一金曜日)を引き

続き行ない、対話の機会を作り広く町民の皆さんの知恵とアイデアをお借りし、更に行政においても企業感覚を導入し町行政改革大綱基本方針(昭和六十年十二月十日策定)を基に推進します。注①経常一般財源 毎年度連続して経常的に収入される財源のうち、その使いみちが自由に使用できる収入(例えば町税、地方譲与税、普通交付税、自動車取得税交付金、経常的に収入される使用料、手数料、財産収入、諸収入など)

町税収入は六億円余り

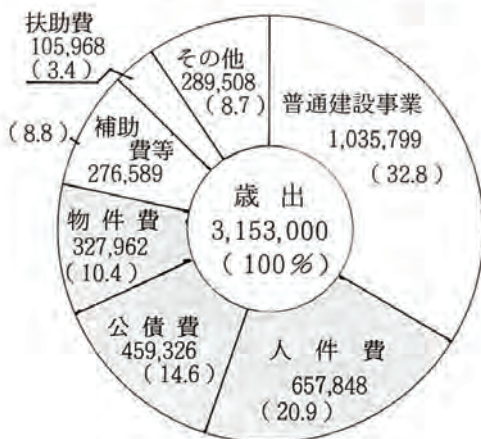
まず、一般会計の歳入について見てみましょう。

総額三十一億五千三百万円のうち、町税が六億一千百一十万円(十九、四%)、地方交付税十二億五千万円(三九、六%)、町債四億三千六百三十万円(十三、八%)、国県支出金四億二千九百五十七万七千円(十三、六%)、繰入金一億八千七百八十八万三千円(五、八%)、その他二億四千四百二十三万円(七、七%)となっています。

表1 性質別歳出状況

単位：千円()内は%

内訳	金額	割合	内訳	金額	割合
積立金	89,083	(0.3)	貸付金	1,179	(0.0)
失業対策	75,099	(0.2)	投資及び	240	(0.0)
繰入金	65,467	(0.2)	災害復旧	1	(0.0)
維持修繕	45,694	(0.1)	予備費	12,745	(0.0)



会計別予算額

一般会計	31億 5,300 万円	
特別会計	国 保	7 億 1,680 万円
	水 道	2 億 197 万 8 千円
	診 療 所	1 億 4,032 万円
	老人保健	7 億 3,889 万 3 千円
	宅 造	2,522 万 3 千円
	工場団地	5,148 万 6 千円
総 額	50億 2,770 万円	

総額50億2,770万円

公営住宅建設、中学校増築など

一般会計歳入歳出予算

歳入

歳出

(単位:千円)

款	項	金額
1. 町 税		611,110
	1. 町 民 税	295,385
	2. 固 定 資 産 税	246,390
	3. 軽 自 動 車 税	12,647
	4. 市 町 村 た ば こ 税	49,333
	5. 特 別 土 地 保 有 税	798
2. 地 方 譲 与 税		71,448
	1. 消 費 譲 与 税	35,448
	2. 自 動 車 重 量 譲 与 税	20,000
3. 利 子 割 交 付 金		3,402
	1. 利 子 割 交 付 金	3,402
4. 自 動 車 取 得 税 交 付 金		21,000
5. 地 方 交 付 税		1,250,000
	1. 地 方 交 付 税	1,250,000
6. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,000
	1. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,000
7. 分 担 金 お よ び 負 担 金		50,196
	1. 負 担 金	50,196
8. 使 用 料 及 び 手 数 料		58,624
	1. 使 用 料	53,452
	2. 手 数 料	5,172
9. 国 庫 支 出 金		247,406
	1. 国 庫 負 担 金	84,789
	2. 国 庫 補 助 金	157,280
10. 県 支 出 金		182,171
	1. 県 負 担 金	37,553
	2. 県 補 助 金	127,894
11. 財 産 収 入		18,933
	1. 財 産 運 用 収 入	18,881
	2. 財 産 売 払 収 入	52
12. 寄 附 金		1
	1. 寄 附 金	1
13. 繰 入 金		181,783
	1. 基 金 繰 入 金	105,720
14. 繰 越 金		1
	1. 繰 越 金	1
15. 諸 収 入		19,625
	1. 延 滞 金 加 算 金 及 び 過 料	100
	2. 預 金 利 子	7,400
	3. 貸 付 金 元 利 収 入	300
	4. 雑 収 入	7,825
16. 町 債		436,300
	1. 町 債	436,300
歳 入 合 計		3,153,000

款	項	金額
1. 議 会 費		80,154
	1. 議 会 費	80,154
2. 総 務 費		444,168
	1. 総 務 管 理 費	311,927
	2. 徴 税 費	54,350
	3. 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	20,899
	4. 選 挙 費	7,686
	5. 統 計 調 査 費	989
	6. 国 土 調 査 費	47,126
3. 民 生 費		350,604
	1. 社 会 福 祉 費	115,658
4. 衛 生 費		164,315
	1. 保 健 衛 生 費	77,206
	2. 清 掃 費	81,741
	3. 上 水 道 費	1,053
	4. 診 療 所 費	3,897
5. 労 働 費		78,407
	1. 失 業 対 策 費	10,031
	2. 職 業 転 換 対 策 費	3,404
	3. 産 炭 地 域 開 発 費	61,664
6. 農 林 水 産 業 費		271,482
	1. 農 業 費	222,629
	2. 林 業 費	48,484
7. 商 工 費		6,656
	1. 商 工 費	6,656
8. 土 木 費		694,816
	1. 土 木 管 理 費	49,299
	2. 道 路 橋 梁 費	229,554
	3. 河 川 費	26,865
	4. 港 湾 費	50
	5. 都 市 計 画 費	95,771
9. 消 防 費		113,676
	1. 消 防 費	113,676
10. 教 育 費		476,638
	1. 教 育 総 務 費	34,631
	2. 小 学 校 費	100,789
	3. 中 学 校 費	233,910
	4. 幼 稚 園 費	25,364
	5. 社 会 教 育 費	69,783
11. 災 害 復 旧 費		1
	1. 農 林 水 産 施 設 費	1
12. 公 債 費		459,336
	1. 公 債 費	459,336
13. 諸 支 出 金		2
	1. 普 通 財 産 取 得 費	2
14. 予 備 費		12,745
	1. 予 備 費	12,745
歳 出 合 計		3,153,000

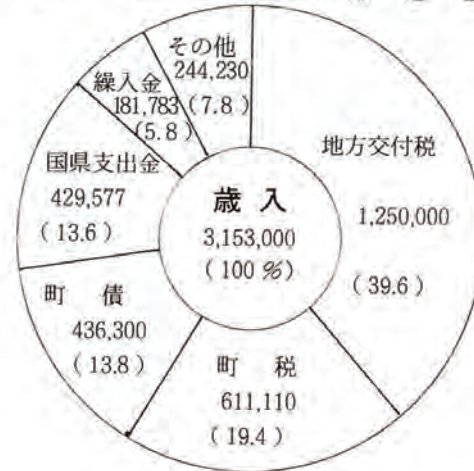
表2 平成元年度一般会計歳入歳出内訳

単位：千円（ ）内は%

・その他の内訳	財産収入	18,933
地方譲与税	利子割交付金	3,402
使用料及び手数料	交通安全対策金	1,000
分担金及び負担金	特別交付金	1
自動車取得税交付金	寄付金	1
諸収入	繰越金	1

町税の内訳 (単位：千円)

区分	金額
町民税	295,383
固定資産税	246,390
軽自動車税	12,647
市町村たばこ税	49,333
特別土地保有税	798
旧法による税 (たばこ消費税・電気税)	6,557
合計	611,110



町民一人(一世帯)当たりの予算額

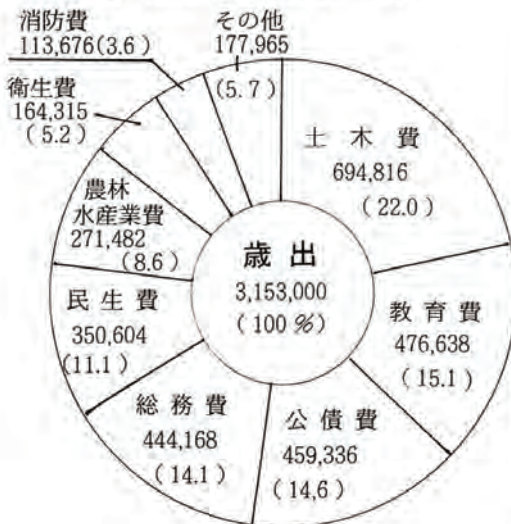
(元年3月末人口12,256人, 世帯数3,712)

負担する 町税	1人当り	49,862円	使われる お金	1人当り	257,261円
	1世帯当り	164,630円		1世帯当り	849,407円

単位：千円（ ）内は%

・その他の内訳	議会費	80,154	予備費	12,745
	労働費	78,407	諸支出金	2
	商工費	6,656	災害復旧費	1

単位：千円



事業名	事業費	事業名	事業費
第1保育所大規模改修工事	25,000	庁舎内改修工事(配電盤及び駐車場シャッター)	1,000
新農業構造改善事業	42,856	町管理住宅屋根改修工事	700
団体営農道整備事業	50,298	カーブミラー取付取替工事	500
林業地域総合整備事業	43,020	通報設備(ベル)設置工事	150
森林地域活性化緊急対策事業	1,507	第1保育所大規模改修工事	7,700
小浦都市下水路改修事業費	67,000	第2保育所事務所増築工事	800
公営住宅基本設計費	10,341	児童の館補修工事	240
消防施設整備事業	12,498	土地改良施設維持管理	840
口石小学校大規模改修工事	32,100	適正化事業負担金	10,000
中学校増築事業	80,044	佐々町農業振興補助金	171,249
		町道改良舗装工事	18,000
		中央地区小規模下水道事業	25,665
		河川改良工事	3,500
		町民プール改修工事	20,000
		佐々川河川公園整備事業	18,300
		公営住宅環境整備事業	252,000
		公営住宅建設事業	6,002
		消防施設整備事業	3,600
		佐々小学校改修工事	1,770
		口石小学校床張替工事	4,060
		口石小学校大規模改修工事	116,956
		中学校増築事業	8,100
		公民館改築工事補助金	2
		公有財産購入費	
小計	364,664	小計	671,135

次に、おもな事業を見てみると次の様になっています。
公営住宅建設に二億円

お金の使われ方

町民総参加で 町政推進を

―総務―

国も町も人口の高齢化や国際社会における責任の増大など、今後の社会経済情勢の変化に財政が弾力的に対応していくため、財政改革を推進し、



3月定例町議会

一般行政経費の節減合理化、定員と給与についても適切な管理が要請されています。

昨年ふるさと創生「一億円交付金」が交付されることになり、昭和六十三年度分の二千万円を基金に積み立てています。本年度分として八千万円が交付されます。

この一億円の使いみちを町民皆様のご意見を聞きながら、地域づくりに役立てたく

町内会会長事務交付金	12,017	千円
電源地域産業育成支援事業 (佐々駅前開発計画)	12,000	
財政調整基金積立	86,063	
土地開発基金積立	1,700	
減債基金積立	1,200	
納期前納入報奨金	4,692	
広域圏への電算処理委託料	4,402	
広報費	4,371	



アイデア募集の準備を進めております。

また、西海ショッピング等の立地で商業環境の変化に対応し、商店街の活性化を促進するため、佐々町商業開発調査をし、問題と方策を探すため、電源地域産業支援事業で「佐々駅前商店街開発整備計画」を策定するようにしています。

今年度は、参議院議員選挙、長崎県知事選挙が予定されていますので、執行いたします。国土調査は、小浦免の現地調査を残すのみとなりましたが、二区分して小浦第一地区〇、七八編を調査、測量します。

高齢化社会へ 民生福祉の 向上を

―福祉―

本町の六十五歳以上の高齢者が全人口の一四％となりました。こうした高齢化に対して、活力と生活に充実感を得られるよう、健康で明るい町づくりを基調に、社会福祉協議会等各種団体と連絡をとりながら健康増進と安心して住める地域づくり、福祉の向上に努めます。

特に、在宅福祉の充実を計るため家庭奉仕員の各種サービスが広く利用されるよう、経済的に個人負担が少なくなるように考えております。

また、小規模デイサービス等による心の通った在宅福祉の向上を目指します。

また、「生きがいと創造の家」を活用して高齢者がその知識と経験を生かし、地域社会における社会奉仕活動、創造活動等に参加することで、老後の生きがいを高め、生活を健康で豊かなものになるよう努めます。

更に高齢化社会に対応して高齢者が活躍できるようミニ・シルバー人材バンクを試験的に設置したいと思えます。

保育所については、施設整備として第一保育所の雨漏り防止などの修繕工事を、第二保育所は事務室の拡張工事をを行うようにしております。

老人保健法による各種検診は、「ガン対策モデル町」の県の指定をうけ、受診率の向上を図るための住民教育、地区組織育成の強化をし保健、福祉の強化に努めます。なお、各種検診の受診料は無料としました。

町営火葬場使用については、休止することになり、町外の火葬場を利用された方は使用料の三分の二を助成いたします。



健康づくりハイキングから

町村福祉協議会運営費補助	8,036 千円	老人クラブ助成	1,498 千円
民生員活動費補助金	1,426	民間保育園委託料	32,688
福祉医療費	10,200	老人保健特別会計繰出し	36,870
国民健康保険会計繰出し	23,000	各種検診・予防接種	12,783
国民年金電算事務処理委託料	1,030	塵芥組合への負担金	49,589
敬老年金	7,936	し尿組合への負担金	29,700
老人センター運営委託	7,423	水道企業会計補助(消化栓管理)	1,053
小規模ディサービス事業委託	2,640	診療所会計繰出し	3,897
シルバーバンク事務委託	2,000	健康づくり推進費	418

産業として成り立つ

農業経営を

―農林水産業・商工―

最近の農業をとりまく情勢は、農産物の需要は伸び悩み、価格の低迷、牛肉、オレンジに見られるように農産物自由化の外圧と、水田農業確立対策等の転作面積拡大、柑橘園地編成対策など極めて厳しいものがあります。今後一層厳しさを増す農業経営環境に対処するため、新たな観点から見直し新規作物の導入を図り、農業団体、農業者と連絡を密にして新しい施策について更に検討していきます。

農業委員会では、中核的担い手農家の育成確保、農用地の利用集積による経営規模拡大

農業委員会費	18,314 千円
農業振興費	4,692
新農業構造改善事業費	43,856
学童農園施設管理費	13,130
畜産総合対策事業費	3,053
農地費	35,264
団体営農道整備事業 (迎木場・赤崎地区)	50,298
林業振興費	2,843
林業地域総合整備事業 (古川真竹谷線・大茂市瀬線)	43,020
商工業振興費	5,245
観光費	1,411

大と有効利用を促進し、産業として成り立つ農業経営を育成するため、推進事業をします。



毎月8日、28日の野菜市

新農業構造改善事業では、栗林地区に三、五ha、市瀬地区に暗渠排水工事二、九九haの事業推進を行いません。畜産振興では、今年度も肉用牛生産奨励補助を行い、また和牛改良組合等にも補助を有意欲的生産と経営維持、効率化のため合理的な指導育成を図ります。畜産総合対策では雌牛の導入推進と飼料基盤整備を進めます。

基盤整備事業は新規に赤崎地区農道舗装、継続事業で迎木場地区農道開設を進めます。

憩いの場 佐々川河川公園整備と 公営住宅建設

―土木・消防―

地域住民生活の要望が多い道路、河川等の整備を重点に施行します。長年の懸案事項

である下水道事業では、小規模下水道事業として調査に着手するようにしております。

道路維持	40,194 千円
道路新設改良 (木場線外)	171,360
中央地区小規模 下水道調査	18,000
河川改良	25,666
公園管理	4,821
小浦都市下水路 改修調査	67,000
公営住宅管理	30,936
消防団員活動費	22,668
広域消防負担金	70,000
消防施設費	20,737
災害対策費	271

また、町の農道振興補助事業を活用し小規模基盤整備を進め、新規作物、裏作物の導入で生産性の向上を図ります。中核農家の育成を進め、イチゴ、メロン、キュウリなど施設園芸の拡大で品質向上を図り特産品づくりを進めます。

商工観光では、商工会に助成を行い、中小商工企業の育成、指導強化を進めます。また、観光パンフレット等を作成し広くPRを行ないます。



着々と進む河川公園の整備

また公営住宅建設にもとりかかり、更に都市下水道事業を復活し、湛水地域解消のため調査費を計上、整備促進を図ります。

余暇の増加に伴い憩いの場として、佐々川河川公園整備を行ないます。

消防関係では、施設整備として七分団の消防自動車を購入、大茂に防火水槽を設置します。また、県消防大会が本町で開かれることになっていきますのでその経費を計上しています。

教育施設の整備

本年度から中学校の四〇人学級に取り組み、そのため校舎増築工事を行い教育施設の充実に努めます。

小学校については、勤労生産学習に取り組むとともに、床張替、体育館アスベスト除去、教室出入口改修など施設の充実に努めます。

千本公園グラウンド夜間照明の完成でスポーツの振興に大いに活用されるものと期待します。文化財関係では、施設と案内板の整備を行ないその啓蒙に努めます。



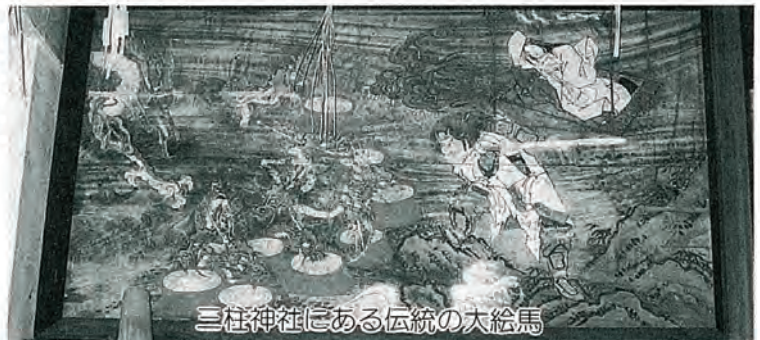
教育委員会費	1,083千円	幼稚園教育振興費	671千円
事務局費	33,548	社会教育総務費	28,485
小学校管理費	52,517	少年健全育成事業	2,601
小学校教育振興費	12,112	文化財費	499
小学校大規模改造事業	36,160	公民館費	25,041
中学校管理費	27,360	文化会館費	13,157
中学校教育振興費	9,250	保健体育総務費	6,035
中学校増築事業	197,000	体育施設費	6,126
幼稚園管理費	24,693		

健全な 財政運営を

— 公債費 —

六十二年度決算から公債費残額は二十九億百四十四万二千円で、六十三年度末見込残額では二十八億七千五百五十五千円と三千万円あまり減少の見込みです。

元年度末残額では、公営住宅建設などで三十億程度になる見込みです。



三柱神社にある伝統の大絵馬

起債の目的	限度額 千円	起債の目的	限度額 千円
産炭地域開発就労事業 (町道真中、美渡世越線 道路新設工事)	6,600	町道中央海岸線改良工事	28,500
団体営農道整備事業 (迎木場地区、赤崎地区)	21,000	町道中野線改良工事	5,000
林業地域総合整備事業 (古川真竹谷線) (大茂市瀬線)	9,000	佐々川河川公園整備事業	15,000
町道木場線改良工事	85,500	小浦都市下水道改修工事	12,000
		公営住宅建設事業	217,700
		消防施設整備事業	9,700
		中学校校舎増築事業	26,300

特別会計

国民健康保険

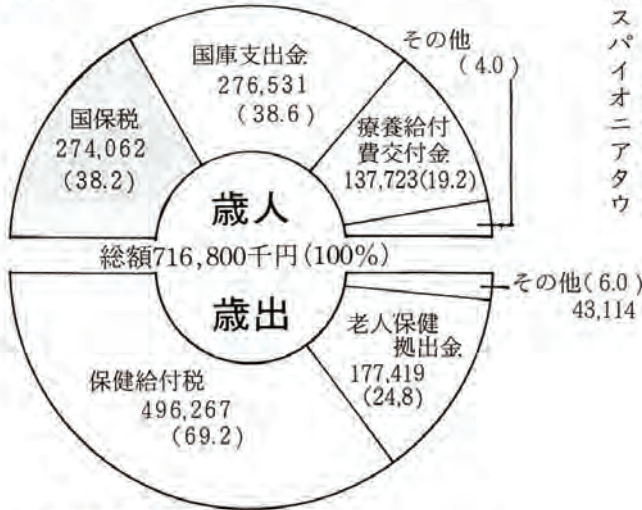
前年度の国保制度改革の二
年目に当たり引き続き①国保
基盤安定制度の推進②高額医
療費市町村の安定化計画の推
進③高額医療費共同事業の強
化、充実④医療費適正化対策
の強化、充実を実施します。

歳入

保険税、国庫支出金、退職
者医療給付費、交付金等は前
年度実績で計上。特別調整交
付金はヘルスパイオニアタウ

単位：千円（ ）内は%

その他の内訳			
繰入金	23,057	使用料及び手数料	226
共同事業交付金	3,305	財産収入	200
諸収入	1,694	繰越金	2



その他の内訳

総務費	22,760	共同事業拠出金	2,223
予備費	9,556	諸支出金	1,269
保健施設費	7,106	積立金	200

職員一〇名分の人件費と臨
時、パート雇用経費など八千

歳出

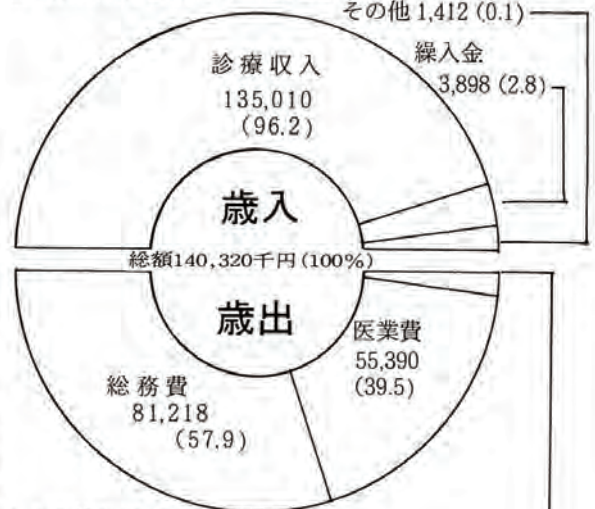
診療収入は、入院患者一日
平均十四人（年間延五、一一
〇人）、外来患者一日平均九
二人（年間二七、二三二人）
を見込み、一億三千五百一十
万円を計上しています。

また、繰入金として、一般
会計から地方交付税算入分三
百八十九万七千円、その他収
入あわせて歳入合計一億四千
三十二万円を計上しています。

歳入

単位：千円（ ）内は%

その他の内訳			
諸収入	809	財産収入	1
使用料及び手数料	601	繰越金	1



その他の内訳

予備費	2,711	その他	3,712 (2.6)
公債費	1,000		
基金積立金	1		

宅地造成事業

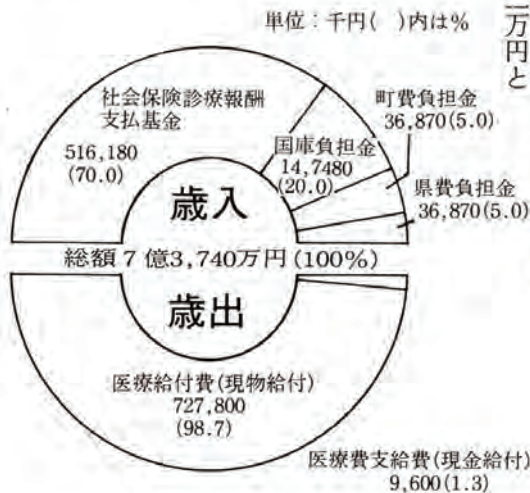
二十一区画分譲の土地売却
代金の残額二千四百五十七万
九千円と廃水処理施設使用料
四十九万四千七百円などを
計上しています。

工場団地造成事業

西九州ソウイング株への土
地売却代金五千四百四十八万四
千円の収入を計上。それを一
般会計へ繰出すものが主なも
のであります。

老人保険

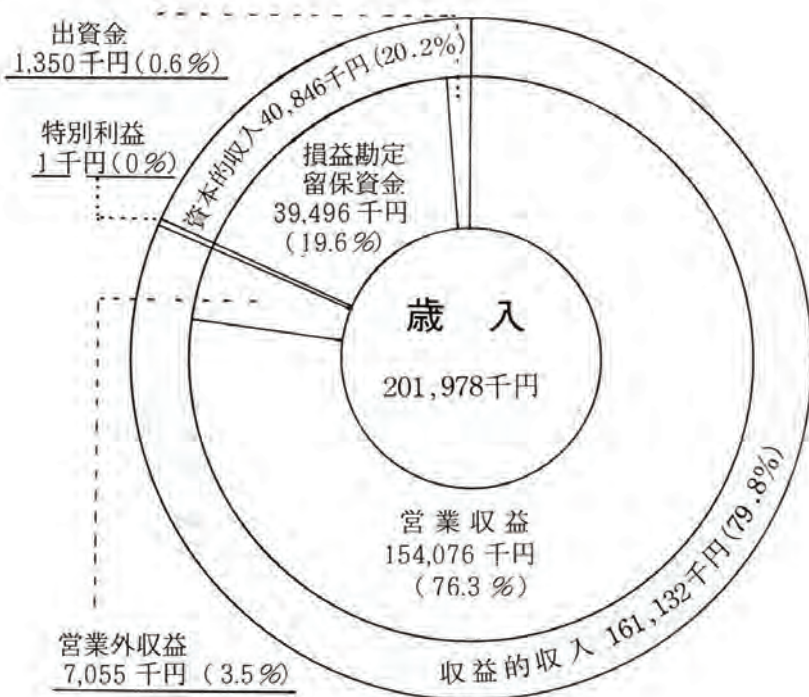
昭和五十八年二
月、老人保健法が
始まってから数回
の制度改正があり、
本年度は、対象者
の増加、医療費改
定による増加、自
然増を見て六・五
％の伸びを予定
して計上。医療費
内訳は次のとおり
です。



水道事業

水道事業会計では、「おいしく、安い水を町民に」をモットーに、水道課員一同、鋭意努力しておりますが、未だ、高部地域に未給水地区（角山地区と栗林、黒灰、神田北の一部地区）が53戸あります。財政事情と各地区の特殊

性を考慮しながら解消のため検討します。
また、宅地開発などで増加傾向にある給水人口（水需用）に対応出来るよう企業努力します。
なお、業務量は、①給水件数月平均四千件、②普及率九十八％、③年間給水量百五十五万トン、④有収水量九十五万五千トン（有収率八十三％）を見込んでおります。



営業収益

項目	金額	対前年度 伸び率	備考
給水収益	15,300	7.4%	需用増4.4% 消費税3%
受託工事収益	120	0	
他会計負担金	234	4.5	消化栓維持管理負担金117基
その他収益	722	△44.9	

営業外収益

預金利子	6,000	9.0	
その他	1,055	0	

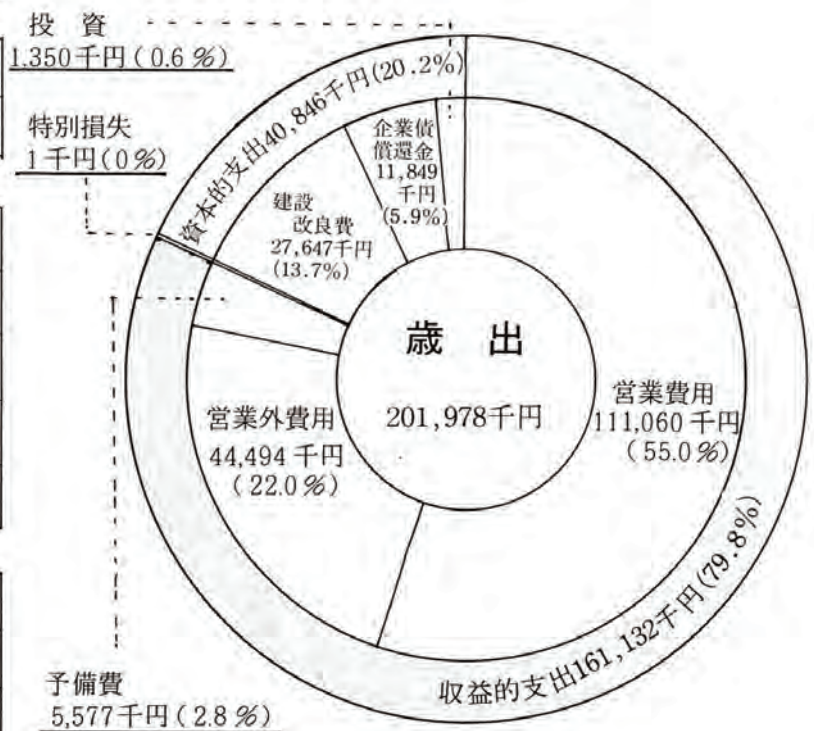
営業費用

項目	金額	対前年度 伸び率	備考
職員給与費	33,791	5.3%	職員給7名分
経常経費	36,081	△0.1	原水浄水費、配水給水費他
減価償却費	38,777	1.6	
その他	2,411	—	

営業外費用

企業債償還利息	43,493	△1.9	
消費税	1,000	—	
その他	1	0	

◎収益的収入と支出
一億六千百三十三万二千円
(対前年度 六・九増)
収益的収入並びに支出の内訳は「表」のとおりです。
◎資本的収入と支出
四千八十四万六千円
(対前年度 十二・一増)
資本的収入は、無水源地域簡易水道施設整備事業の資金融資預託出資金百三十五万円を計上しております。
資本的支出は、神田・松瀬・口石の各地区の配水管改良工事費二千五百十三万円、企業債償還金千八百八十四万九千円などを計上しております。
なお、支出に対して収入が不足する分は、過年度留保資金で補填します。



今回の異動対象者及び変更係名

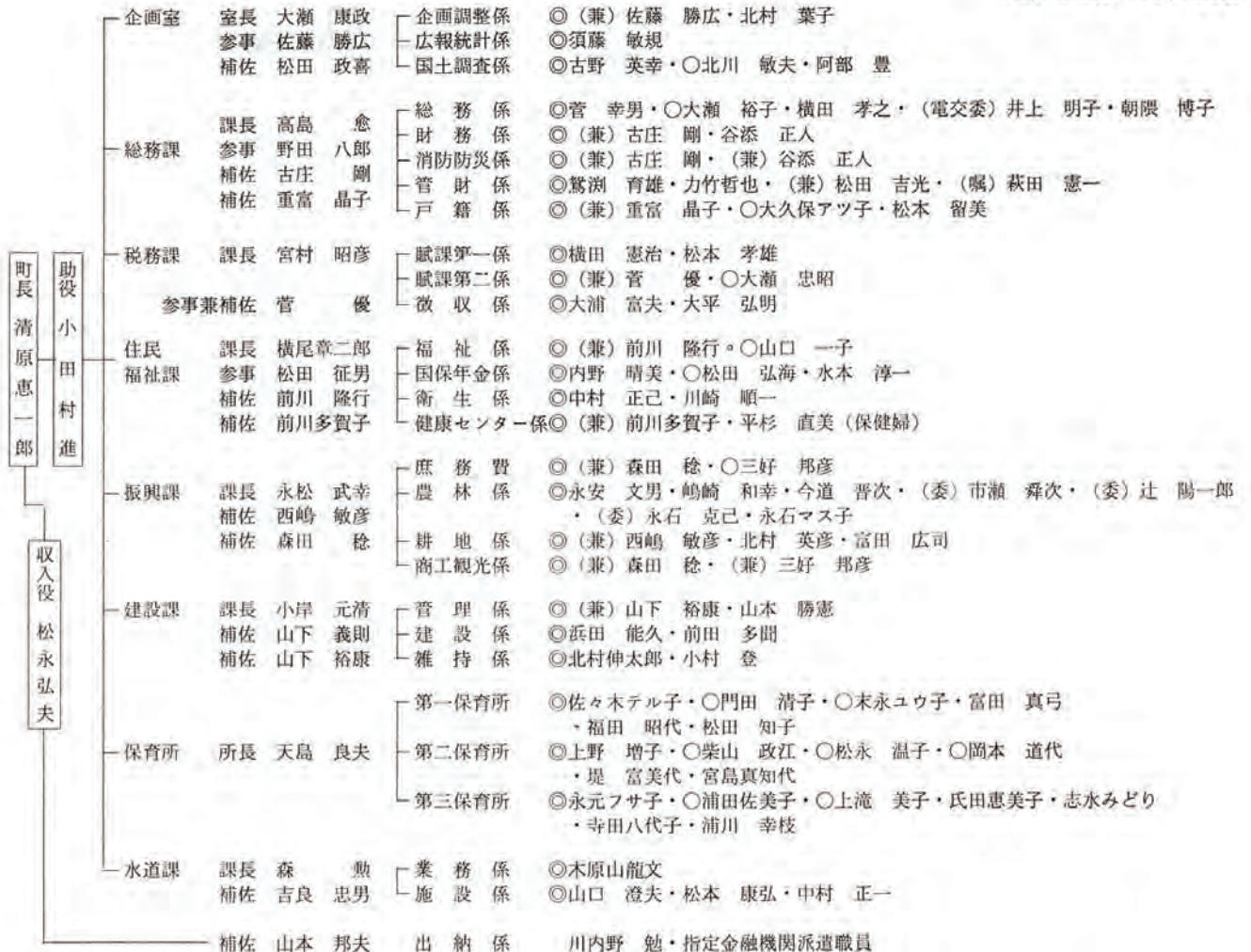
佐々町組織・職員名一覧表

平成元年4月1日付

(平成元年四月一日現在)

◎印は係長・主任…○印は主査…(兼)は兼務

(嘱)は嘱託…(委)は委託



教育委員会

教育長 木山 清栄

- 次長 森田 迪夫
- 補佐 洲上 勝利
- 総務係 ◎ 川上 一郎・○築城 律子
- 学校教育係 ◎ (兼) 川上 一郎・(兼) ○築城 律子・(嘱) 貞松 馨
- 佐々中学校 坂本美代子・池田きみえ・(委) 松野ひとみ
- 口石小学校 森田 利子・野村 京子・(委) 出端 朝子
- 佐々小学校 小林 洋子・山内 輝美・(委) 福田 広子
- 佐々幼稚園 ◎ 山高ミドリ・○池田八重子・西牟田文字子・(嘱) 小岸 元弘
- 社会教育係 ◎ (兼) 洲上 勝利・○浜野 互・(嘱) 橋場 修・(嘱) 十時ツキエ
- 社会体育係 ◎ 山本 健一

議会事務局 事務局長 永井 良一・○田島 須美・中村 義治

農業委員会事務局 事務局長 黒岩 正毅・○村上千鶴子

選挙管理委員会 書記長(兼) 高島 愈・書記長補佐(兼) 古庄 剛・○岡本 省三・書記(兼) 菅 幸男

監査事務局 書記(兼) ◎ 岡本 省三

診療所 事務局長 中田満寿雄・内田 明文・吉田 節子

所長 原田 達郎

◎小川 久子・◎橋口 正子・宮崎 勝子・田島佐和子・横田 絹子・丸田 文江

公民館 館長(兼) 木山 清栄 管理(委) 福本 徳一・福本アイ子

勤労青少年ホーム 館長(兼) 木山 清栄 指導員(委) 志水 善三 ※資料室・図書室・(委) 松田 一世

文化会館 館長(兼) 木山 清栄 管理員(委) 大瀬 三郎

佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合 事務局長 野田 龍夫・◎井村 操・◎坂本 斉・辻 重徳・山藤 健一